

P18 学内共同研究 7

研究代表者 田淵六郎（総合人間科学部社会学科）

共同研究者 黒川由紀子・荻野美佐子（心理学科）

杉村美紀・増淵幸男（教育学科）

芳賀学（社会学科）

高山恵理子・岡知史・栃本一三郎（社会福祉学科）

平尾桂子（地球環境学研究科地球環境学専攻）

蘭 信三（外国語学部国際関係副専攻）

坂本光代（外国語学部英語学科）

「総合人間科学」の構築に向けて —「語り」をめぐる学際的研究の可能性—

研究の目的・背景

- ◆ 総合人間科学部の支柱となるべき「総合人間科学」の構築を目指す
 - ◆ 研究と教育の両側面からの検討
- ◆ 「人間の尊厳」「人間発達」が鍵概念
- ◆ 学際的な研究関心を集める「語り」にフォーカスし、専門分野を超えた理論と方法の構築を目指す

研究方法

- ◆ 理論枠組みの構築
 - ◆ ナラティブ、ライフヒストリー研究にかんする理論枠組の批判的概観
 - ◆ シンポジウムや研究会を通じた研究討論
- ◆ 「語り」データの収集と分析、研究・教育連携
 - ◆ エスニシティなどのテーマをめぐるデータ収集と共同の分析
 - ◆ 地域に根ざした「語り」の収集とアーカイブ化をめぐる関連団体・組織との連携

研究成果

- ◆ 理論面での研究成果
- ◆ 「総合人間科学」の理論枠組み構築には2つの可能性がある
 - ◆ (1) 特定の対象について多角的側面から「語り」を収集し分析する
 - ◆ (2) 「語り」を複数分野の研究者が共同で検討することで、多面的かつ厚みのある意味解釈の可能性を探求する

研究成果（続き）

- ◆ 経験・実践面での研究成果
 - ◆ 留学生の移動をめぐるライフストーリー（杉村、坂本ほか）・・・エスニシティやマイノリティ教育などのテーマをめぐる独自の研究や教育
 - ◆ 過疎化地域での「語り」をめぐる研究・教育連携（田渕ほか）・・・地域間交流、世代間交流としての「聞き書き」フィールドワークのための地域との連携を進める（→2011年度教育イノベーションプログラムの支援を得た授業開講へ）